

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠ 注意

### 設置・接続場所について



#### ■生成器本体は平らな場所に設置する

(生成器本体が転倒し、けがをするおそれあり)

必ず守る

#### ■配管は、水漏れのないよう確実にを行う

(接続されていないと、ホースがはずれ水漏れの原因)

- 特に、固定金具(クイックファスナー)などは、確実に取り付けてください。

#### ■本器は、生成器本体・付属の生成器用水栓および設置部材を、セットで使用する

- 生成器本体、および生成器用水栓を、単独で使用しないでください。

#### ■一次給水側は、特に水漏れがないよう確実に接続する

(水漏れが起こると、大きな補償問題になるおそれあり)

### ホースについて



禁止

#### ■ホース類を折り曲げたり、ねじったり、引っばったり、挟み込んだりしない

(水漏れの原因)

- 引き出しのレールや扉に挟まれないよう配置してください。



必ず守る

#### ■給水ホースは最後まで差し込み、袋ナットをしっかり締め付け、固定金具(クイックファスナー)を確実に取り付け

- 袋ナット(樹脂性)の締め付けに工具は使わないでください。

#### ■ホースは確実に接続する

(水漏れが起こると、大きな補償問題になるおそれあり)

#### ■ホース類はゆるやかに、つぶれないように曲げる

(亀裂や破損による、漏電や家財などをめらす原因)

#### ■吐水ホースと排水ホースを切るときは、継手からはずして切る

(継手に傷がつき水漏れが起こると、大きな補償問題になるおそれあり)

### 点検について



必ず守る

#### ■最終点検時は、止水栓(逆止弁付)を含む配管接続部全体の水漏れ点検を十分に行う

(水漏れが起こると、大きな補償問題になるおそれあり)

# 取付設置上のお願い

#### ■次のような場所には設置しないでください。(故障の原因)

- 高温部(40℃以上)の近く
- 浴室や生成器本体に水・蒸気のかかる所
- 屋外や風雨にさらされる所
- 油の付着する所
- 凍結の可能性のある所(本器は寒冷地仕様ではありません。)

#### ■配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行ってください。

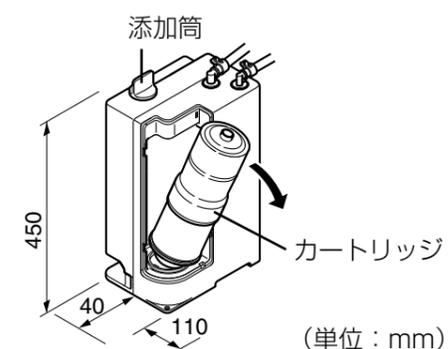
なお、シンクの種類、フロアユニットの組み合わせによって配管接続方法が異なります。

#### ■水道法基準適合の認証登録品ですので、必ず生成器本体、付属の生成器用水栓、設置部材をセットでご使用ください。

#### ■生成器本体を設置する前に、電源コンセント(交流100V)をユニット内部に取り付けてください。

#### ■設置場所は、ユニット内に取り付ける棚やオプションの位置によって決めますが、必ずお客様(施主)とご相談のうえ、カートリッジ交換およびカルシウム添加が容易な位置に設置してください。

(最低でも右記寸法のスペースが必要です。)



(単位: mm)

#### ■水抜き栓が奥まで差し込まれているか確認したうえ、設置してください。

水抜き栓は生成器本体内にこぼれた水を抜くとき以外は、取りはずさないでください。

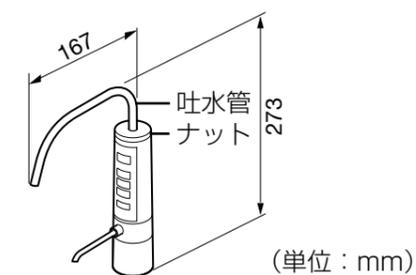
(水漏れ検知装置が作動しない原因)



#### ■昇降式のキャビネットがある場合は、可動部が接触しない位置に生成器用水栓を設置してください。

(最低でも右記寸法のスペースが必要です。)

#### ■生成器用水栓の吐水管のナットを工具で締めつけしないでください。(破損・水漏れの原因)



(単位: mm)

#### ■生成器本体を倒した状態で設置しないでください。(故障の原因)

#### ■給湯配管には接続しないでください。(故障の原因)

#### ■排水口をふさがないでください。(故障の原因)

#### ■カウンターやシンクの穴あけには、材質にあった工具を使用してください。(カウンターやシンク破損の原因)

#### ■水栓取付部が厚さ30mm以上の場合は、穴あけしないでください。

#### ■壁面取付タイプの水栓には、取り付けしないでください。